## 新座都市計画地区計画の変更 (新座市決定)

当初決定告示年月日 平成 2年11月 2日 最終変更告示年月日 令和 7年 9月19日

新座都市計画新開地区地区計画を次のように変更する。 令和 7年 9月19日

	名称	新開地区地区計画
位置		新座市大和田五丁目の一部
面積		約6.9ヘクタール
		良好かつ適切な住環境を形成するために宅地
		の細分化、ミニ開発などの防止を図り、また、
		建築物を計画的に誘導し、整然としたまちなみ
地区計画の目標		形成を図る。
		さらに、土地区画整理事業による基盤整備の
		上に立ち、うるおいとゆとりのある緑豊かな住
		環境の形成を図る。
	土地利用の方針	地区内の土地利用は、中層住宅を主体とし、
		良好な住環境の保全を図る。
	地区施設の整備の方針	地区施設は土地区画整理事業により整備され
区域		ている。
の		今後、道路及び公園(2か所)、緑地等の機能
整備、		と地区内の環境が損なわれないよう地区計画の
開		目標に照らし維持、保全を図る。
発		1 整然としたまちなみとするため、建築物の
及び	建築物等の整備の方針	用途の制限、敷地面積の最低限度及び建築物
保全の		等の形態又は色彩その他の意匠の制限を定
		め、良好な住環境を形成する。
方針		2 地区内に緑豊かなまちなみ景観をつくり出
		すために生け垣等による緑化の推進を図る。
		3 壁面の位置の制限を設け、安全でゆとりあ
		る住環境の形成を図る。

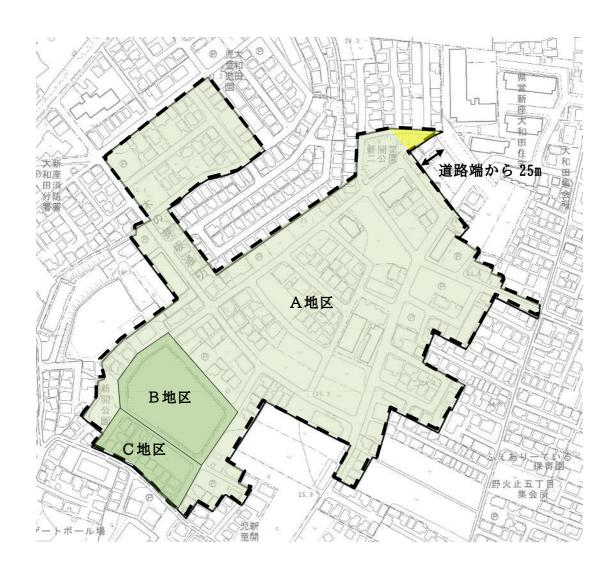
	<del> </del>    -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -	マ佐乳の	公 園	児童公園 2ヵ	か所 約2,29	9平方メートル
	地 区 施 設 の配置及び規模		その他の	緑地 1か所 約18平方メートル		
			公共空地			
		地区の	区分の名称	A地区	B地区	C地区
		区分	区分の面積	約6ヘクタール	約0.55ヘクタール	約0.35ヘクタール
				次の各号に	次に掲げるも	のは建築しては
				掲げるものは	ならない。	
				建築してはな	畜舎。ただし	、建築物に付属
				らない。	する 1 5 平方メ	ートル以下のも
地				(1) 事務所	のは除く。	
区				及び物品		
	整			販売業を		
				営む店舗		
計	築			の用途に		
画	物			供するも		
	等			ので、その		
	に			用途に供		
	関	建筑地	勿等の	する部分		
	す		の制限	の床面積		
	る	711,850	> 1h1) b7Z	の合計が		
	事			1,000		
	項			平方メー		
				トルを超		
				えるもの。		
				(2) 畜舎。た		
				だし、建築		
				物に付属		
				する 1 5		
				平方メー		
				トル以下		
				のものは		
				除く。		

	建築物の敷地面積 の 最 低 限 度	110平方メートル	100平方メートル	
		道路境界線から建築物の外壁	道路境界線	
		又はこれに代わる柱の面までの	から建築物の	
		水平距離は、1.0メートル以	外壁又はこれ	
	壁面の位置の制限	上とする。	に代わる柱の	
			面までの水平	
			距離は、0.5	
			メートル以上	
			とする。	
		建築物の形態又は色彩その他の	つ意匠は、新座市	
	建築物等の形態	景観計画表3に規定する景観形	成基準及び表4	
	又は色彩その他 に規定する色彩基準を遵守するものとする。た			
	の意匠の制限	し、景観法第16条第1項又は第2項による届出		
		を行うものについては、適用しな	<b>ない。</b>	
		道路に面する側の垣又は柵は、	生け垣又は敷地	
	行力は押る	地盤面から高さ60センチメー	トル以下の基礎	
	垣又は柵の	部分の上に透視可能なフェンスを	を施したもので、	
	構造の制限	基礎部分を含む高さが敷地地盤面から1.5メー		
		トル以下のものとする。		
	備考			

「区域及び壁面の位置の制限は計画図表示のとおり」

理 由 旧大和田ファミリープール跡地を住宅地として土地利用転換することに伴い、既に地区計画により良好な住環境を維持・保全している新開地区と一体的な住宅地として維持・保全するため、地区計画を変更するものです。

## 新開地区地区計画区域



区域	用途地域	建ペイ率	容積率
	第1種中高層住居専用地域	60%	200%
	第2種中高層住 居専用地域	60%	200%
	第1種住居地域	60%	200%
<u> </u>	地区整備計画区域		